

ワークショップ 第1部「博物館のリニューアル」の概要

1 趣旨説明 杉長敬治（文部科学省国立教育政策研究所・フェロー）

ワークショップの趣旨と博物館総合調査のデータを基に博物館の老朽化とリニューアルの取組の現状を説明した。

2 発表① 石川貴敏氏（丹青研究所・文化空間情報部長）

演題 博物館のリニューアルについて

概要 現在、博物館は「リニューアルの時代」を迎えている。1994年度以降、継続的に取り組んでいる丹青研究所調査（「年度別開設博物館・リニューアル博物館調査」）では、2006年度からリニューアル館数が新設館数を上回った。本発表では、長く博物館のリニューアル傾向を調査した立場から、近年の博物館リニューアルの状況（契機・要因・形態・特徴等）を述べるとともに、「平成の市町村合併」や「公共施設等総合管理計画の策定要請」（2014年4月）などを背景に、各地で散見される博物館の統廃合・再編・再配置の取組みについても言及した。

発表② 水澤喜代志氏（新潟市新津鉄道資料館・副館長）

演題 リーダーシップと地域協働でリニューアルから活性化へ結びつける

概要 新潟市では、鉄道文化を市の新しい魅力として発信し、交流人口の拡大を図ることを目的に、資料館を昨年（2014年）7月リニューアルしました。資料館のある新津は明治・大正・昭和と続く鉄道の要衝でした。この歴史や地域の鉄道関連施設などを掘り起こし、地元経済団体・観光協会・愛好団体などを巻き込んで、協働で「鉄道の街にいつ」をキャッチフレーズに各種に取り組んでいます。地域協働で鉄道文化事業に取り組むことで、資料館の新たな活用と必要性を認識していただけたと考えています。

3 水澤氏の発表へのコメント 法政大学キャリアデザイン学部金山教授と金山ゼミ所属の学生 ＜金山喜昭教授のコメント＞

概要 資料館のリニューアルに先立って、金山教授が主導して市民のワークショップと職員のワークショップを開催し、資料館の在り方を議論した。資料館のリニューアルは、ミッションの見直しや設置条例の変更、必要な予算の確保が行われた点が重要である。リニューアルの範囲は施設設備にとどまらず、組織や展示のリニューアルを含めた館全体に及んでいる。ミッションの中に地域活性化があるが、地元の商店街との連携もうまくいっている。

＜金山ゼミ所属の学生—小菅葵氏・野村龍星氏・米持のはな氏—のコメント＞

概要 私たちは今年（2015年）の5月1日～3日にかけて、ゼミ合宿で新津を訪れました。目的は、新津商店街が地域資源をどのように用いているか、リニューアルした鉄道資料館が商店街にどのような波及効果を与えているのかという2点です。今回は鉄道資料館の報告として、現状とそれに対する評価を整理し、SWOT分析並びにクロスSWOT分析を行うことで、課題と展望を考えました。実際に調査を行い、新津鉄道資料館が商店街と連携して、地域全体をまちづくりに取り組んでいることが明らかになりました。資料館を中心として、まちの

さらなる発展を願っています。

4 質疑応答・意見交換 以下の質疑・意見交換があった。

Q1990年代には、市民参画・市民参加が博物館運営のキーワードであったように思うが、リニューアルを行っている館では、観光や利用者への対応に重点がおかれるように見える。現在行われているリニューアルでは、そのような傾向が強いのか？

Aリニューアルの意図として、市民が利用しやすい・交流しやすい施設にすることを主眼にしたものと地域のブランド化や観光振興を図る施設にすることを主眼にしたものがある。

Qリニューアル時に、施設のアメニティの高度化（トイレ等）が要求されている事例は多いか？

A例えば、施設全体のリニューアルをする場合にも、アメニティの高度化を含める事例は多い。

Q成果指標では、入館者数が過度に重視されているように思うが、成果指標の複線化についてどう考えているか？

A入館者数はわかりやすい指標なので、新潟市でも重視される傾向がある。入館者数以外の項目についても、実績をあげ、幅広くアピールするようにしている。

Q欧米の動物園を見ると、まずリニューアルのプランがあって、プランに基づいてファンドレイジングという流れがあるが、日本では、このような事例があるか？

A欧米のような事例は少ないが、鶴岡市立加茂水族館リニューアルの際の公募地方債（住民参加型市場公募地方債）の例がある（質問者からは、静岡市立日本平動物園が鶴岡市立加茂水族館の前に実施していた旨の補足説明があった）。

Q地域の文化資源を発掘する上で、恒常的に館にいる学芸員に、どのような役割や能力が求められていると思うか？

A学芸員には、資料収集・調査研究・展示等に関する業務を遂行するだけでなく、地域に入って、文化資源を掘り起こすことが求められている。そのためには、コミュニケーション能力の向上が必要であり、一方で学芸員の確保や身分の安定化などは大きな課題になっている。

Q金山ゼミの発表に、ミュージアムショップやレストランについての提案があった。全国科学博物館振興財団のホームページにミュージアムショップの調査結果を掲載しているので、参考にしてほしい。レストランは、赤字が続き、撤退していくケースも多い。博物館のグッズについては、展示解説書が重要だが、販売できない場合には、資料のポストカードを是非扱ってほしい。それも無理なら、資料のリストは是非揃えてほしい。

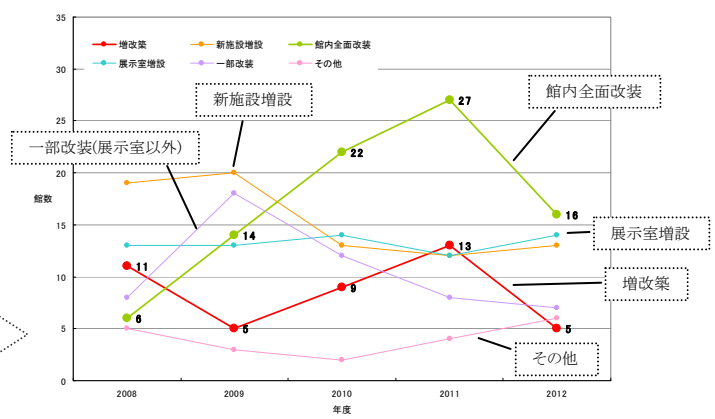
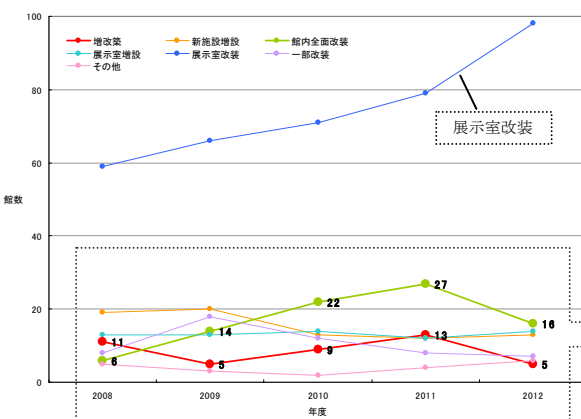
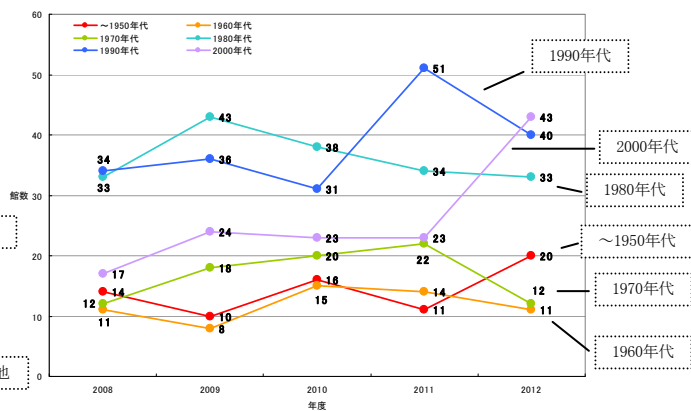
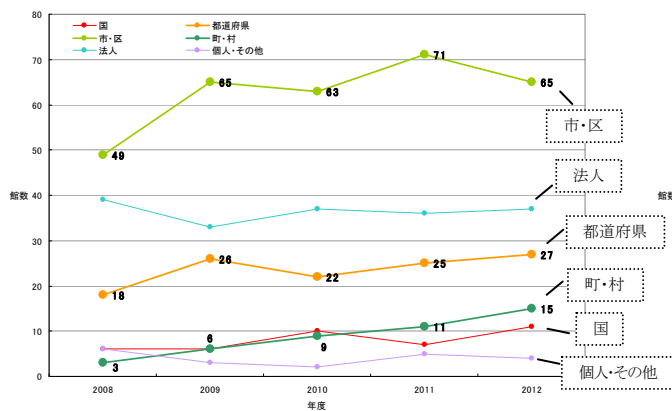
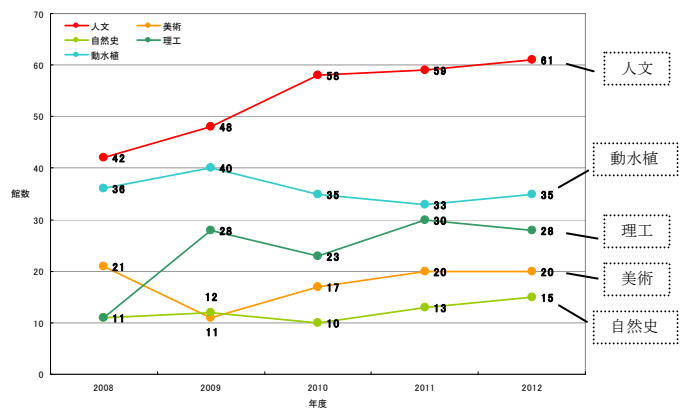
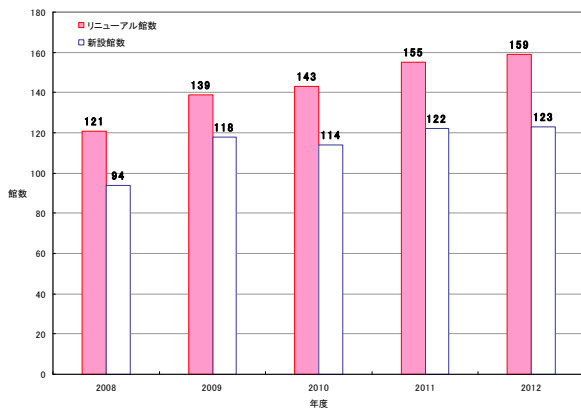
A提案がどのようにしたら実現できるのか、今後勉強していきたい。

(注) レジюмеと説明用スライドは、本報告書と「日本の博物館総合調査」のウェブサイトに掲載している。発表者の概要部分は、各発表者に記載していただいた。質疑応答・意見交換の内発表者以外の部分は、杉長がまとめた。文責は杉長にある。

博物館のリニューアルについて

1. 近年の調査結果から見た傾向（丹青研究所リニューアル博物館調査）

- ・ 調査概要
- ・ 年度別リニューアル館数／館種別の傾向／設立主体別の傾向／開館年代別の傾向／リニューアル形態の傾向 ※下図参照



- ・丹青研究所調査では、2006年度調査時からリニューアル館数が新設館数を上回っている。

2. 近年の博物館リニューアルについて

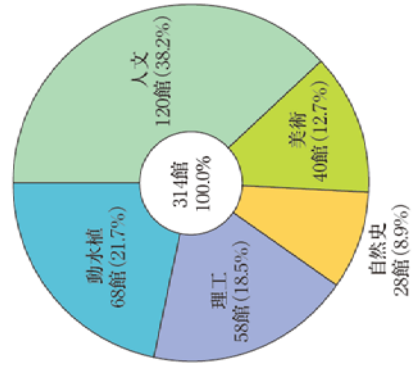
- ・2013年度～2015年度の主なリニューアル館／リニューアル計画・推進中の主な事例
- ・リニューアルに至る契機／リニューアルに取り組む要因
- ・近年のリニューアルの特徴（リニューアルの目的・工夫・ポイント）
- ・段階的なリニューアル、中長期的なリニューアル
- ・「平成の市町村合併」後の対応（統廃合・再編など）
- ・総務省「公共施設等総合管理計画」策定要請（2014年4月）
～公共施設再編時代におけるリニューアル～
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックとの関わり

博物館のリニューアルについて

平成27年10月24日
 丹青研究所・石川貴敏

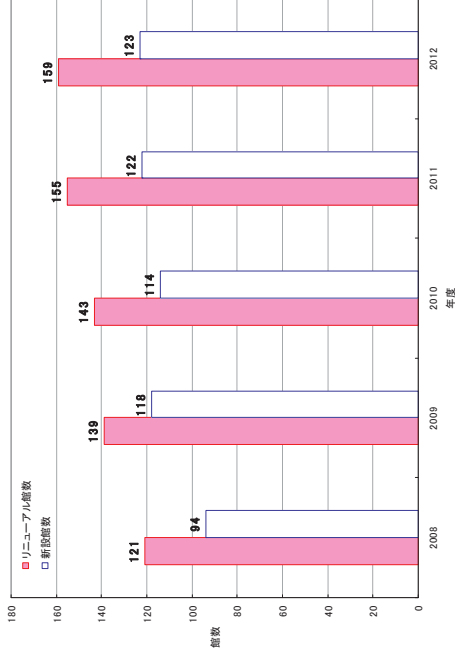
1. 近年の調査結果から見た傾向 (丹青研究所リニューアル博物館調査)

■ 館種別の傾向 (2011・2012年度)



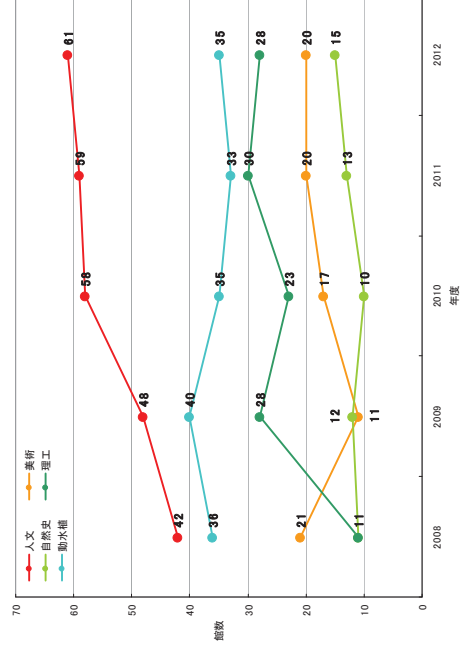
1. 近年の調査結果から見た傾向 (丹青研究所リニューアル博物館調査)

■ 年度別リニューアル館数 (2008年度～2012年度)



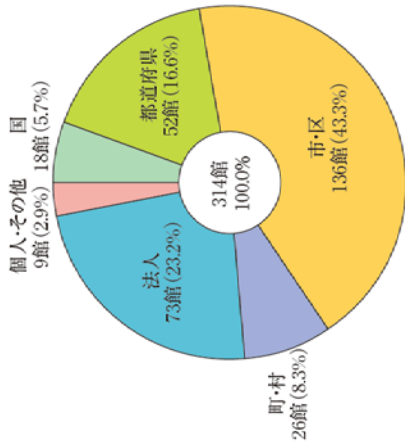
1. 近年の調査結果から見た傾向 (丹青研究所リニューアル博物館調査)

■ 館種別の傾向 (2008年度～2012年度)



1. 近年の調査結果から見た傾向 (丹青研究所リニューール博物館調査)

■ 設立主体別の傾向 (2011・2012年度)

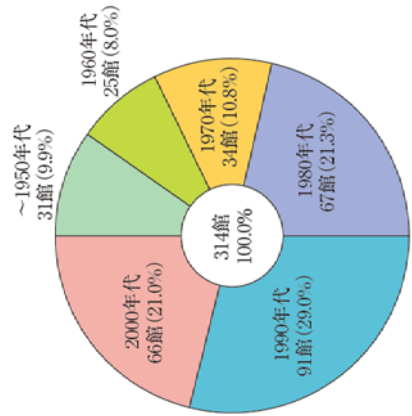


4

273

1. 近年の調査結果から見た傾向 (丹青研究所リニューール博物館調査)

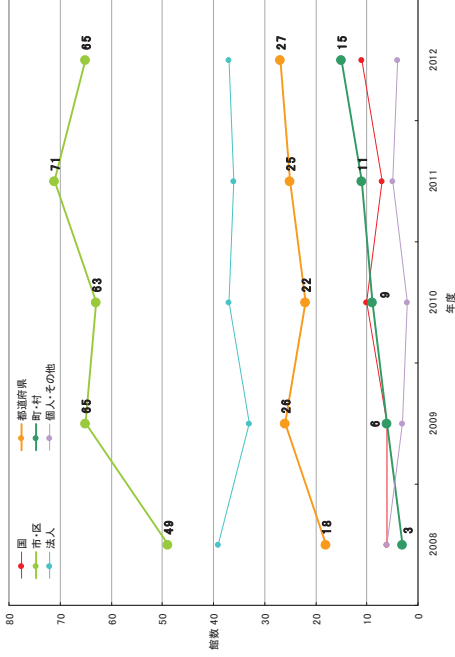
■ 開館年代別の傾向 (2011・2012年度)



6

1. 近年の調査結果から見た傾向 (丹青研究所リニューール博物館調査)

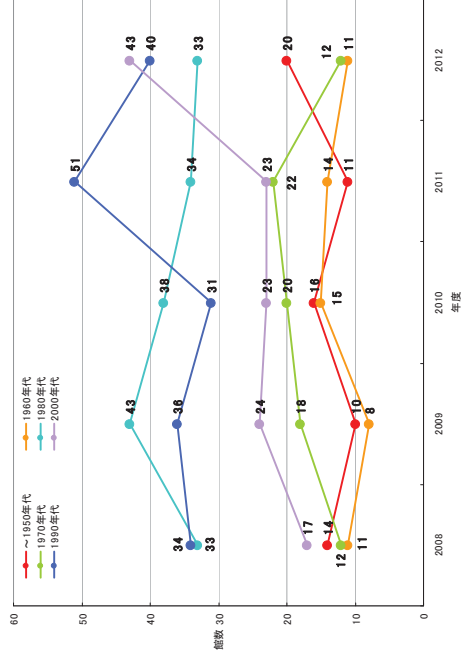
■ 設立主体別の傾向 (2008年度～2012年度)



5

1. 近年の調査結果から見た傾向 (丹青研究所リニューール博物館調査)

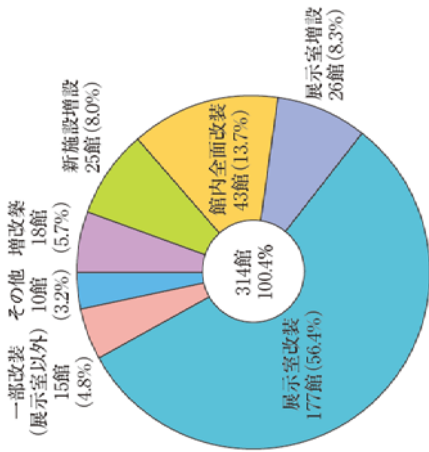
■ 開館年代別の傾向 (2008年度～2012年度)



7

1. 近年の調査結果から見た傾向 (丹青研究所リニューアール博物館調査)

■ リニューアール形態の傾向 (2011・2012年度)



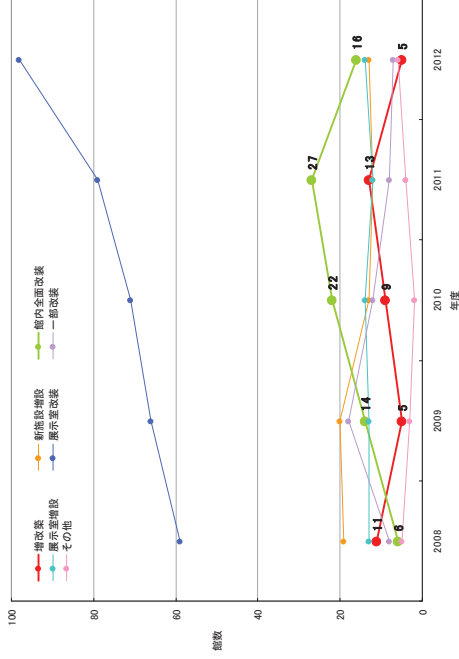
2. 近年の博物館リニューアールについて

■ 2013年度～2015年度の主なリニューアール館

施設名	リニューアールオープン年月	施設名	リニューアールオープン年月
九州国立博物館(文化交流展示室)	2015年10月	石川県立歴史博物館	2015年04月
豊田市美術館	2015年10月	ふじさんミュージアム、富士吉田市歴史民俗博物館	2015年04月
田端文士村記念館	2015年10月	氷ノ山自然ふれあい館、雪の森	2015年04月
舞鶴引揚記念館	2015年09月	大分県立美術館(*大分県立芸術会館)	2015年04月
国立科学博物館(地球館<北館部分>)	2015年07月	札幌市青少年科学館	2015年03月
新潟市美術館	2015年07月	東京都江戸東京博物館	2015年04月
敦賀市立博物館	2015年07月	杉並区立郷土博物館	2015年03月
佐賀県立宇宙科学館	2015年07月	魚津埋没林博物館	2015年03月
北海道博物館(*北海道開拓記念館)	2015年04月	フォックスマグナム・ジウム	2015年03月
宮沢賢治記念館	2015年04月	四日市市立博物館(四日市公署と環境未来館 併設)	2015年03月
若松城天守閣郷土博物館	2015年04月	大阪府立弥生文化博物館	2015年03月
埼玉県立近代美術館	2015年04月	神戸市立青少年科学館	2015年03月

1. 近年の調査結果から見た傾向 (丹青研究所リニューアール博物館調査)

■ リニューアール形態の傾向 (2008年度～2012年度)



2. 近年の博物館リニューアールについて

■ 2013年度～2015年度の主なリニューアール館

施設名	リニューアールオープン年月	施設名	リニューアールオープン年月
佐賀市大隈記念館	2015年02月	柳井町恐竜博物館	2014年04月
東京都庭園美術館	2014年11月	相模原市立相模川ふれあい科学館	2014年03月
府中市郷土の森博物館	2014年10月	市立大町山岳博物館	2014年03月
高知県立美術館	2014年10月	渋谷区立松涛美術館	2014年01月
京都国立博物館(平成知新館)	2014年09月	福岡市博物館	2013年11月
京都府京都市文化博物館	2014年09月	埼玉県平和資料館	2013年10月
市立山谷漆芸博物館	2014年08月	台東区立新倉影壁館	2013年10月
新潟市新潟県道資料館	2014年07月	安曇野市豊科近代美術館	2013年09月
福井県立若狭歴史博物館	2014年07月	米子市美術館	2013年08月
弘前市立博物館	2014年04月	宮小牧市美術博物館(*宮小牧市博物館)	2013年07月
高崎市郷土と天文の博物館	2014年04月	新潟市水産館	2013年07月
長岡市立科学博物館	2014年04月	富山県[立山博物館]	2013年07月

2. 近年の博物館リニューアルについて

■ リニューアル計画中・推進中の主な事例

施設名	開館年月	現状(予定年月など)
三内丸山遺跡・縄文時遊館	2002年11月	増築設計中 (2018年度)
宮城県美術館	1981年11月	基本構想策定中
群馬県立歴史博物館	1979年10月	改修工事中 (2016年04月)
(仮称)町田市立国際工芸美術館 * 町田市立博物館	1973年11月	基本設計中 (2019年度)
茅ヶ崎市文化史料館	1971年07月	基本計画策定中 (2019年度)
上越市立総合博物館	1972年04月	基本設計中 (2018年度)
十日町市博物館	1979年04月	基本計画策定中 (2019年度)
富山県立新近代美術館(仮称)	1981年07月	新築工事中 (2017年度全館オープン)
福井市自然史博物館 * 分館整備	1982年07月	新築工事中 (2016年04月)
長野県信濃美術館	1986年10月	基本構想策定中

12

2. 近年の博物館リニューアルについて

■ リニューアル計画中・推進中の主な事例

施設名	開館年月	現状(予定年月など)
東広島市立美術館	1979年06月	基本構想・基本計画 策定中(2020年度)
下関市新博物館(仮称) * 下関市立基府博物館	1980年04月 (1983年10月)	新築工事中 (2016年度)
高松市美術館	1988年08月	改修工事中 (2016年03月)
高知県立坂本龍馬記念館	1981年11月	設計中 (2018年01月)
福岡市科学館特定事業 * 福岡市立少年科学文化会館 * PFI	1983年11月	事業者選定中 (2017年10月)
福岡市美術館 * PFI	1979年11月	事業者選定中 (2019年03月)
北九州市立美術館	1974年11月	改修工事中 (2017年11月)

14

2. 近年の博物館リニューアルについて

■ リニューアル計画中・推進中の主な事例

施設名	開館年月	現状(予定年月など)
野尻湖ナウマンゾウ博物館	1984年07月	基本構想策定中
かかみがはら航空宇宙科学博物館	1986年03月	基本計画策定中 (2017年度末)
松原市観光交流拠点施設等整備 * 松原市立歴史民俗資料館等	1978年11月	設計中 (2017年度)
滋賀県立琵琶湖博物館 * 3期に分けて改修(2020年度完了予定)	1986年10月	改修工事中 (2016年07月・第1期オープン)
滋賀県新生美術館 * 滋賀県立近代美術館	1984年08月	設計中 (2019年度)
京都市美術館	1983年11月	基本設計中 (2018年度)
京都府立新総合資料館(仮称)	1983年11月	新築工事中 (2016年度)
神戸市立博物館	1982年11月	基本計画策定中
鳥取県立博物館 * 美術館整備(別途新設)と併行	1972年10月	基本構想策定段階
広島平和記念資料館 * 真館と本館に分けて改修(2018年度完了予定)	1955年08月	改修工事中 (2016年度・真館)

13

2. 近年の博物館リニューアルについて

- 施設・設備の老朽化
- 新たな機能・役割への対応(施設や館内設備の改修)
- 開館後の資料・情報・調査研究成果(発掘成果等)の蓄積に基づいた展示の更新
- 時代に即した展示内容・手法の採用
- 周年事業や記念年にあわせた取り組み
- 新たな交通インフラの整備(開通・開業)やNHK大河ドラマなどに関連した観光促進事業としての取り組み
- 寄贈・移管などにより、設置・運営主体を替えて、新たな施設に整備・更新
- 震災など災害からの復旧(修復)
- 耐震化(補強)
- エコバースナルデザインの対応
- 利用者サービスの向上

15

2. 近年の博物館リニューアルについて

■ 府中市郷土の森博物館（1987年4月開館）

- 2014年10月：「ムラのはじまり」「古代国府の誕生」「国府から府中へ」
「宿場のにぎわい」「変わりゆく府中」「都市と緑と」
がオープン（常設展示室リニューアル完了）
- 2009年03月：「こども歴史街道」「体験ステーション」
がオープン（常設展示室リニューアル）
- 2008年04月：「くらやみまつり」がオープン（常設展示室リニューアル）

■ 豊橋市自然史博物館（1988年5月開館）

- 2016年 春：「新生代展示室」がリニューアルオープン予定
- 2008年04月：「中生代展示室」がリニューアルオープン
- 2004年04月：「古生代展示室」がリニューアルオープン

滋賀県立琵琶湖博物館、倉敷市立自然史博物館、INAXライブミュージアムなどは、段階的・中長期的にリニューアル事業に取り組んでいる。各地の動物園でも中長期計画に基づいて、リニューアルが行われている。

16

2. 近年の博物館リニューアルについて

- 情報の再編集
(資料や地域の新たな価値の顕在化に向けた再編・リニューアル)
- 更新性のある博物館（即応性）
- 鑑賞環境の向上・改善
(実物資料重視/コレクションの活用/館の個性・特性を活かした展開/公開承認施設)
- ICTのさらなる活用
- 誰もが楽しむことのできる博物館に向けて
- 博物館に求められるさらなる役割・機能への対応
- 観光との関わり
地方創生、歴史、宇宙、鉄道、鉄道、恐竜……
- 東京オリンピック・パラリンピック開催（2013年9月決定）に向けた動向
(グローバル化への対応/2015年6月「9都県市首脳会議」は博物館改修や多言語対応等への財政支援を国に要請)
- 明治維新150年（2018年度）に向けた動向

17

◆博物館のリニューアル 事例研究 新潟市新津鉄道資料館

《リーダーシップと地域協働でリニューアルから活性化へ結び付ける》

1. はじめに

(1) 新潟市秋葉区概要

① 旧新津市から新潟市へ合併, 旧新津市は「秋葉区」となる

② 「鉄道の街にいつ」の変遷

(2) 新潟市新津鉄道資料館の概要

2. 新津鉄道資料館見直しの経緯

(1) 旧市町村「文化施設のあり方検討会」からの洗い出し ～現状の評価～

(2) 文化施設の「重点施設」の設定

3. 新津鉄道資料館リニューアル事業の基本的な考え方

(1) ミッションと運営方針

(2) ミッションの実現と事業内容

(3) 事業の基本的な考え方

(4) 展示リニューアルの考え方

4. 資料館リニューアルに向けたリーダーシップ

(1) 自治体としてのリーダーシップ

(2) 職員としての想いと熱意でできること, できないこと

5. 地域協働での資料館運営

(1) 地域資源を掘り起こせ 「歴史, 人, モノ, 知恵」

(2) 相互連携による資料館と地域の発展と活性化

6. まとめ



リーダーシップと地域協働で リニューアールから活性化へ結び付ける



新潟市
新潟鉄道資料館
Niitsu railway museum

ちょっとだけ

鉄道の街についての紹介

- ◆新潟市南東部に位置する
- ◆東西を阿賀野川、信濃川に囲まれ、南に山間丘陵部の地形を活かして信越本線、羽越線、磐越西線ができた
- ◆明治時代から石油・鉄道のまちとして栄えてきた
- ◆東日本最大級の鉄道の要衝として全国に知られてきた



鉄道の街についての変遷

- ◆明治30年(1897年)新潟駅開業する
- ◆大正時代 鉄道による石油輸送が本格化する
- ◆大正時代 信越線・磐越西線・羽越線が交差する鉄道の要衝となる
- ◆昭和16年(1941年)現在の新潟車両製作所が設置される
- ◆昭和30年代 労働者4人に1人が鉄道員となる
- ◆昭和30年代までに新潟駅には車掌区、電修場、保線区など15現業部が配属され、機関区には60両の蒸気機関車が所属し、1日400本の列車が発着する、まさに全盛期をむかえる
- ◆昭和40年代 蒸気機関車から電車・気動車に切り替わる
- ◆昭和50年代以降、新潟駅の機能や業務は実質、新潟駅に吸収されていった

新潟鉄道資料館の概要

- ◆昭和58年 旧鉄道病院跡地に市民発意で市が設置
- ◆平成10年 現在の旧国鉄鉄道学園跡地に移転
- ◆平成17年 新潟市に合併「新潟市新津鉄道資料館」となる
- ◆平成24年 開館30周年によりリニューアル事業開始
- ◆平成26年 リニューアルオープン

<施設概要>

運営・管理 新潟市文化スポーツ部歴史文化課

構造 RC2階建

面積 屋内 1,764㎡ 屋外 9,564㎡

駐車場 150台(共有)

観覧料 一般300円 高・大学生200円 小・中学生100円

開館時間 9:30~17:00(火曜・年末年始休館)

職員体制 16名(館長,事務3名,学芸員3名,臨時9名)

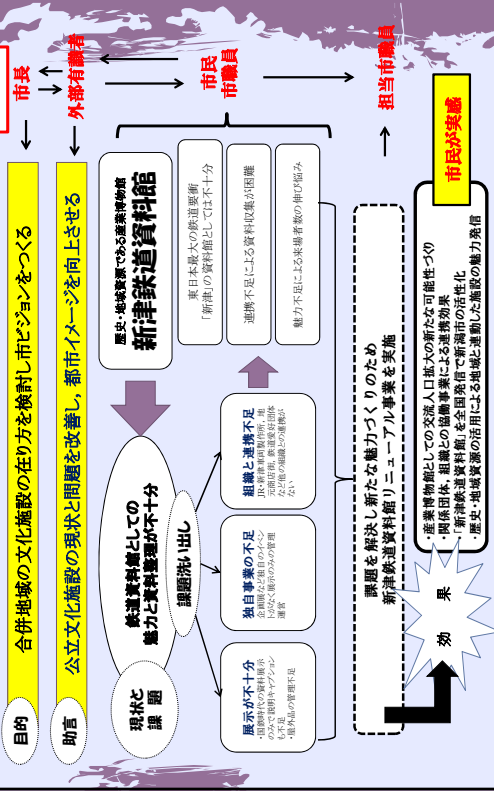
新潟駅舎内にサテライト施設あり(レンタサイクル・案内 等)



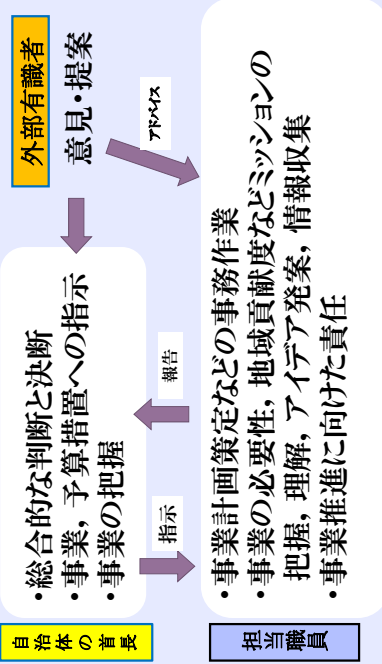
資料館リニューアル前の展示



資料館見直しの経緯



リニューアルに向けたリーダーシップと外部有識者



スケジュールとリニューアル予算

◆ H24.7	新津鉄道資料館活性化検討委員会発足(全7回)	
◆ H24.10	検討委員会が新潟市長へ提言書を提出	
◆ H25.2	新津鉄道資料館活性化基本計画書策定	7,875千円
◆ H25.3~8	展示等改修設計業務委託	80,000千円
◆ H25.6	車両輸送・展示業務委託	134,000千円
◆ H25.10~H26.7	展示改修業務委託	40,000千円
◆ H25.9~H26.4	展示改修等のため休館	3,800千円
◆ H25.10~H26.3	空調工事	1,000千円
◆ H26.4	新津駅南サテライト開設	3,571千円
◆ H26.4	「鉄道の街にいつ」プランディング事業実施	
◆	その他(委員会, 一般事務費)	
◆ H26.4.19	1階部分オープン, 7月下旬オープン	
	合計	270,246千円

リニューアル前後の職員体制と運営予算

リニューアル前

- ◆職員 兼任正職 1名
- ◆臨時 4名
- ◆予算 3,000千円

リニューアル後

- ◆職員 正職 2名(1) 再任用 1名 非常勤 4名(2) 臨時 9名
- ()は学芸員数

◆予算(H27)

管理費 15,000千円
 (正・非常勤人件費除)
 企画費 7,800千円
 重点費100,000千円
 合計 122,800千円

リニューアルの基本的な考え方

ミッションと運営方針

ミッションI

交通人口の拡大と地域の活性化を図ります
 資料館を観光誘致の目的に文化施設として併用し、その効果内外に発揮することで、地域活性化を図ります。

運営方針

- ① 地域に適合する施設づくりを行う
- ② 新津駅から魅力ある交通アクセスの向上を図る
- ③ 鉄道文化に脚心を持つ人たちに新たに集約していく

ミッションII

鉄道文化の発信機能にします
 鉄道のまちの「記憶」を継承するとともに、最新技術を用いた新たな資料を収集し、展示をはじめとした鉄道文化の魅力を発信します。

運営方針

- ① 鉄道の「記憶」をたどる
- ② 歴史的なコンテンツづくりと展示を行う
- ③ 鉄道技術の紹介を行う
- ④ 鉄道文化の情報発信を行う
- ⑤ 効率的なメンテナンスを行う

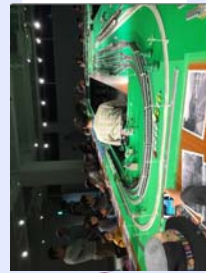
ミッションIII

人づくりと地域の連携による事業を展開します
 鉄道文化を継承・発展する人づくりと地域・市民・企業との連携により、魅力ある事業の展開を図ります。

運営方針

- ① 鉄道文化を学ぶ学校教育を支援する
- ② 地域・市民・企業・鉄道文化施設などとの連携を強化する
- ③ 鉄道文化と地域文化を担う人づくりを行う

事業の基本的な考え方



- ◆ 資料館のミッションに基づき、事業内容の展開を図る
- ◆ 新潟・新津を前面に出した地域ならではの事業を実施する

資料館の発展は地域の発展
 地域の発展は資料館の発展と考
 「地域貢献・相互連携・協働」が
 キーワードになる



展示リニューアルの考え方

新潟市の鉄道資料館として、地域の鉄道の歴史、歩み、発展、時代の変化などを考慮し、さらに実物資料展示にこだわることと、変わりゆく「鉄道」の時代の流れや生活との関わりを通し、鉄道文化をわかりやすく表現する。

- ◆ 常設展示
 新潟・新津の鉄道とまちの歩みの紹介、資料館の豊富な資料を収蔵しながら紹介する収蔵展示、映像コーナー、屋外における実物車両展示などによる構成
- ◆ 企画展示
 自主企画のほか、地域の団体や市民などと協働で展開する
- ◆ 特別展示
 テーマを設け、大規模に展開する



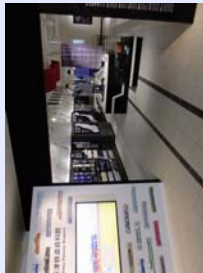
新津鉄道資料館リニューアル その1



外観を新幹線風に塗装しました



200系新幹線・SLIC57-19号機



鉄道色を強く出した入り口付近



実物資料を多数展示しています

新津鉄道資料館リニューアル その2



新津駅にサテライト施設を設置



鉄道講演会を定期的で開催

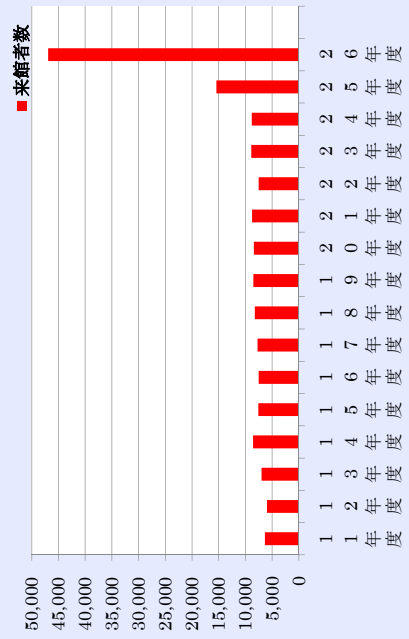


DD114形機関車・485系電車を新規導入



1日館長向谷茂氏のステージイベント

来館者数の推移



自治体職員として できること、できないこと

◆できること

- ・その業務に熱意を持ち、楽しんでやること
- ・常識を変えていくこと(常識は人が、社会が創るものだから)
- ・地域や人(人材)と密着できること(自身の財産になる)
- ・進むべき方向を「みんなで見つけて、掘り起こし、磨いて、輝かせていくことができるんだ」と周りに示し、導くこと

◆できないこと

- ・組織の中では職員は基本「歯車」。以上でもなく以下でもない
- ・人事異動で職場が変わるので長く続けることができない
- ・大型事業の決定と大型予算の確保はかなり難しい

地域資源を掘り起こせ

～地域の発展は資料館の発展に必ず繋がる～



- 歴史 東日本最大級の鉄道の要衝地域で走った蒸気機関車たち
- モノ 首都圏を走る鉄道車両を製造する総合車両製作所新津事業所家庭や地域に点在する鉄道資料

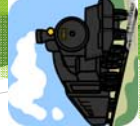


- ひと 鉄道を身近に暮らしてきた人たち10年後のまちなかを考える人たち若者・よそもの・ばかもの
- 知恵 若い人のアイデアが鉄道と融合金は無いかど知恵はある！

新津鉄道資料館 現状・評価と展望

3年 金山ゼミ

新津鉄道資料館のSWOT分析



日程 5月1日(金)～5月3日(土)

目的

- 新津商店街が外部から人を呼び込むために、地域資源をどのように用いているのか現状を知る。
- リニューアルした新津鉄道資料館が新津商店街にどのような波及効果を与えているのか現状を知る。

強み (Strengths)

- 以前、鉄道の要所であった新津に資料館があること。
- SLや新幹線の実物展示、OBから資料提供。
- 国鉄OBが受付兼解説員。
- 無料のシャトルバス、レンタサイクル。
- リニューアル。(館内の清潔さ)
- 校外学習で連携しやすい。
- 鉄道グッズの販売。

弱み (Weaknesses)

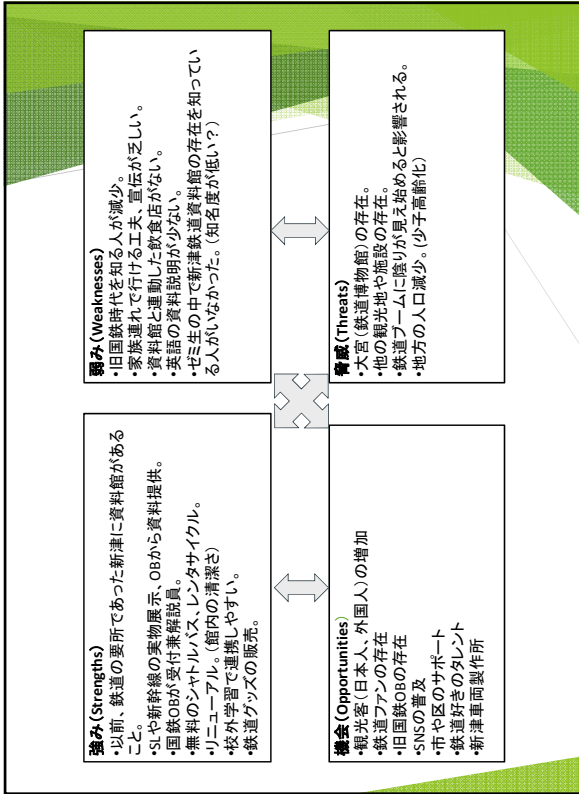
- 旧国鉄時代を知る人が減少。
- 家族連れで行ける工夫、宣伝が乏しい。
- 資料館付近に飲食店がない。
- 英語の資料説明が少ない。
- ゼミ生の中で新津鉄道資料館の存在を知っている人がいなかった。(知名度が低い?)

機会 (Opportunities)

- 観光客(日本人、外国人)の増加。
- 鉄道ファンの存在。
- 旧国鉄OBの存在。
- SNSの普及。
- 市や区のサポート。
- 鉄道好きのタレント。
- 新津車両製作所。
- 資料館周辺に観光スポットが少ない。

脅威 (Threats)

- 大宮(鉄道博物館)の存在。
- 他の観光地や施設の存在。
- 鉄道ブームに陰りが見え始めると影響される。
- 地方の人口減少。



強み × 機会

- SNSを利用し今以上に資料館のことを知ってもらう。
- 市・区のリポートを得て、北陸においての「鉄道のまち」という地位を確固たるものにする。
- 鉄道好きのタレントとコラボグッズ。

弱み × 機会

- 鉄道に興味がない人にも興味を持ってもらえるように、SNSを利用して魅力を伝える。
- 外国人向けの説明などを付け加える。
- 国鉄OBの知識を受け継ぐ人材育成。
- 新津車両製作所との連携(工場見学など)
- 鉄道好きのタレント(元SKE 松井玲奈、私立恵比寿中学 廣田あいか、モデル市川さやなど)をPR大いに起用して、アイドルファンなどにも興味を持たせる。

強み × 脅威

- 大宮との連携、交流。
- 他の観光地(ミュージアム、温泉、公園、神社)や商店街との連携。(シャトルバス→新津巡回バス)

まとめ

弱み×脅威

- 館内に飲食スペース(SLメニューが食べられる場)の検討が必要。
- 広報戦略の見直しが必要。
- ターゲット層を絞る。(どんな人に来て欲しいのか)

ご清聴ありがとうございました。